

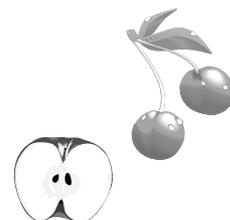
# 緑の相談所だより

No. 122

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所  
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 電話 0166-65-5553

発行:平成 22年 2月 1日

## 講習会のご案内



「洋ラン講座」-春に向かったの育て方-

とき 平成22年2月14日(日)  
PM 1:30~ 3:30 定員 50名  
講師 旭川蘭友会顧問 笠原 幸三さん

「果樹の剪定と病害虫防除」リンゴ・サクランボ他

とき 平成22年2月21日(日)  
PM 1:30~ 3:30 定員 50名  
講師 相談員 佐藤 吉光

「園芸薬品と病害虫」



とき 平成22年2月27日(土)  
PM 1:30~ 3:30 定員 50名  
講師 住友化学園芸株  
研究開発部 杉崎 瞬次さん

「楽しいガーデニング」花と庭木の土づくりと手入れ

とき 平成22年3月14日(日)  
PM 1:30~ 3:30 定員 50名  
講師 相談員 石川 敏雄

## 展示会のご案内

「神楽岡公園の四季写真展」  
平成22年2月5日~28日  
出展:井原 久夫さん



「温室の植物写真展」  
平成22年3月2日~27日  
出展:道新文化センター写真教室

### —お知らせ—

- ・展示会の初日は準備のため、ご観覧は午後からです。
- ・4月から10月は第2・第4月曜日が休館日です。
- ・11月から3月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

### ☆講習会は予約が必要です

お申込み受付は前の月の20日  
から、定員になり次第締切です。

お申込み・お問い合わせは 65-5553



## 2月の園芸作業.

### 1 鉢花類

シクラメンの傷んだ花茎、葉柄は摘み取り、日の当たる15℃以下の涼しいところで育てましょう。

ポインセチアは赤色等の花包はまだ着いて十分楽しめますので低温と乾燥に注意し、花包が痛んできたら摘心しましょう。

開花中のペコニア類は日当たりを良くし、温度を18℃以上に保ち、随時花柄摘みをすると長く楽しめます。

カランコエは花が終わり生育休止期に入りますので、花柄摘みをして、5~10℃の低温で管理し水やりは控えましょう。

乾燥させ休眠していたアマリリスは植替え時期です。鉢から抜き取って古い土を落とし、古根を処分して新しい用土（赤玉土6・腐葉土3・火山礫1）で球根が1/3程表面に出るように浅植えにします。

### 2 観葉植物類

ゴールドクレストなど針葉樹の鉢植は葉枯れを起こしやすいため高温と乾燥した場所は避け、水ぎれに注意しましょう。

ゴムノキなど観葉鉢は最低温度15℃以上に管理し、水やりは鉢土が乾いたら与え、過湿による根腐れに注意しましょう。肥料は施しません。

### 3 洋ラン類

シンビジウムの花は長持ちしますが、先端のつぼみが開花したとき切花にし、新芽の生長を促しましょう。新芽は1バルブあたり1芽にし、その後の新芽は摘みとります。

デンドロビウムの花は1か月ほど楽しめますが、咲き終わった花柄は花茎の付け根で切り、直立している太いバルブは切らないで残しておくこと。かん水を控え気味にして肥料は施さない。高芽になるのは温度の高い部屋に置き、水を過剰に与えることが原因のひとつです。

コチョウランは花期が長く2~3か月咲き続けますが次の開花の為に根元から早めに切り取って(先端のつぼみが開花したとき)切花で楽しむのがベストです。贈答用に作られた寄せ植えは3~4月頃には、1株ずつ素焼鉢に植替えます。

## 3月の園芸作業

### 1 鉢花類

ゼラニウム、ペゴニア、コリウス、サフィニア等室内に親株を保存してきたものは日に良く当て萌芽させましょう。新芽が出たら、バーミキュライト等の用土に葉を2~3枚程つけ2~3cmの深さに挿し木して新苗を育てましょう。

クンシランは花後も水やりを続け、徐々に薄い液肥を与えましょう。

シクラメンは開花後も水やりを続け、肥料も与え休眠させず生育させましょう。

花壇用草花の種まき時期です。ペゴニアは2月中~下旬、ペチュニア、インパチェンスは3月中旬、サルビア、マリーゴールド、アゲラタムは4月上旬がよいでしょう。

### 2 観葉植物・果樹類

室内のベンジャミナ、クロトンなど観葉鉢物には春のきざしとともにカイガラムシやハダニなどが発生します。葉がベトベトしてきますので柔らかい布で拭き取り、殺虫剤をかけましょう。(1週間おきに3回位)

リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモ等の果樹の剪定時期です。目的は果実の着きを良くするばかりでなく、病害虫を防ぎ、樹高を低く抑え、老化した枝を若い枝に更新する等必要な作業です。なお、切口には病気を防ぐため「傷口癒合剤」を塗ると良いでしょう。また、越冬した病害虫を防ぐため剪定後に「石灰硫黄合剤」を噴霧器で枝や幹にいていねいに散布しましょう。

### 3 洋ラン類

植替えのシーズンです。まずは今月中、下旬にかけてデンドロビウム、カトレア類、パフィオペディム属、コチヨウランと順に植替え、4月下旬まで終われば良いでしょう。

シンビジウムは新芽が成長期に入る4月~5月に植替え、株分けを行いましょう。

洋ランのどの種も植替えは2~3年に1回の割合です。

新しく伸びる芽が生長し根元から出る根が鉢に入るスペースがない状態の鉢、水苔が古くなり弾力を失った(ぼろぼろになる)鉢の他、根腐れによる緊急な場合などその都度植替えましょう。

# シャクナゲ（石楠花）

ツツジ科 ツツジ属

シャクナゲの名前は、枝が曲がっていて真直ぐな部分が1尺にもならないことから「シャクナシ」、これがなまってシャクナゲになったという説があります。

## 酸性土壌を好む株立ち状の陰樹

シャクナゲは日本のツツジ属の中で最も豪華な花をつける代表的な山の花です。北海道では数少ない常緑広葉樹の低木です。日本には6種あり、大きく分けると南方系の4種と北方系の2種になります。

南方系は、ヤクシマシャクナゲ、ツクシシャクナゲ、ホソバシャクナゲ（別名エンシュウシャクナゲ）、アズマシャクナゲの4種と、北方系のハクサンシャクナゲおよびキバナシャクナゲの2種です。

北海道に分布するのは、北方系のハクサンシャクナゲとキバナシャクナゲの2種で、多くは亜高山や高山地域で自生しています。

ハクサンシャクナゲの花はピンク色もありますが、白い花が多い。そのなかで葉の裏に毛があるのがウラゲハクサンシャクナゲです。キバナシャクナゲはハクサンシャクナゲより高所に生えています。背は低く、枝は斜めに伸び20～50 cm程度です。いずれも株立ちが多く、酸性土壌を好み、耐陰性が強い。えりも地方に多い通称エリモシャクナゲはウラゲハクサンシャクナゲの矮性化したものです。



## 鑑賞木としては一級品

シャクナゲ類は大型の美しい花が咲くので鑑賞木として重用され、材は杖、箸、印材、小細工物に用いられました。

シャクナゲの葉は「和石南葉」（わせきなんよう）といい、強壯、利尿などに用いるが、シャクナゲの葉や花にはロドトキシシン＝アンドロメドトキシシン（ケイレン毒）を含み、誤食すれば吐き気、下痢、呼吸困難になる恐れがあるので、注意しなければなりません。

# ポインセチアの観賞とその後の管理

クリスマスシーズンにだけ観賞されることの多いポインセチアですが、水やりと置き場に気をつければ3月くらいまで美しい姿を楽しむことができます。

—今年こそ、うまく育ててみましょう—

剪定作業の流れ

## 日当たりのよい窓辺に置き、鉢の移動を避ける。

- ・ 室内の良く日の当たる窓辺で、夜温が8~15℃のところで管理。
- ・ 鉢の移動を繰り返すと植物にストレスを与え、落葉の原因。

## 長く楽しむ一番のポイントは「水やり」です。

- ・ 鉢土が白くなり、苞と葉がしんなりと垂れ始めたら、水やりのサイン。
- ・ タップリと水をやり、受け皿に水は溜めないこと。
- ・ 鉢は常に湿った状態にしないで乾かし気味に管理、乾燥し過ぎると落葉する。

## 観賞期間中の肥料は不要、オンシツコナジラミが発生したら、すぐに駆除を

- ・ ポインセチアは観賞期間中ほとんど根が生育しないため、肥料は不要。
- ・ 4月~5月頃にかけて新芽が伸び始めたら、窒素分の多い液肥を。
- ・ 葉裏にオンシツコナジラミなどの白い虫がよくつく、また大量発生するとスス病の原因になるので、見つけたらすぐに駆除。

## 観賞期を過ぎたら（2年目以降は観葉植物として楽しもう）

- ・ 3月下旬~4月中旬頃に一回り大きな鉢に植替え、枝を1/2~1/3位まで強剪定し、5月下旬に戸外の良く日の当たる場所へ移動。
- ・ 植替え用土は 赤玉土 6・腐葉土 3・火山レキ 1の配合土、元肥は窒素分の多い緩効性の園芸肥料を鉢土1ℓ当たり5g位施す。
- ・ 降霜前の9月下旬頃まで水と肥料を切らさないで戸外で管理。



4月上旬 強剪定



6月下旬 間引き剪定



7月中旬 摘心

## 展示室の植物たち（29）

### 木立ダリア（コダチダリア） 〈別名 皇帝ダリア、ツリーダリア〉

キク科 ダリア属

メキシコ原産で植物名のDahlia（ダリア）は、18世紀のスエーデンの植物学者「Dahl ダール」の名にちなんでつけられました。樹木に劣らぬ立派な幹をピンと伸ばし、威風堂々とした姿から皇帝ダリアと呼ばれています。樹高が4mにもなる超巨大ダリアです。10月頃から冬季にかけて、その先端に透き通って見えるような綺麗なピンク色の花が咲き誇ります。

当温室では10月始めに入室してから12月下旬に、草丈4mくらいの先端に一輪、一輪と花が咲き始めました。

園芸店ではたまに販売されていますが、開花期が冬季であることと、草丈が大きくなり過ぎることを考えると、旭川には馴染まない花の一つですので購入時に一考を要しますね。

ちなみに花言葉は「優雅」「威厳」「華麗」「移り気」です。

